

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年6月8日(2023.6.8)

【公開番号】特開2021-119831(P2021-119831A)

【公開日】令和3年8月19日(2021.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2021-038

【出願番号】特願2020-13583(P2020-13583)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和5年5月31日(2023.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技盤に形成された遊技領域に向けて遊技球を発射することによって遊技を行う遊技機であって、

第1領域を通過する遊技球を検知可能な第1検知手段と、

第2領域を通過する遊技球を検知可能な第2検知手段と、

を備え、

第1期間中は、遊技球が前記第1検知手段に検知された場合と遊技球が前記第2検知手段に検知された場合とで、互いに同一の演出を実行し、

第2期間中は、遊技球が前記第1検知手段に検知された場合と遊技球が前記第2検知手段に検知された場合とで、互いに異なる演出を実行する

30

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述した課題の少なくとも一部を解決するために、本発明の遊技機は次の構成を採用した。すなわち、

遊技盤に形成された遊技領域に向けて遊技球を発射することによって遊技を行う遊技機であって、

第1領域を通過する遊技球を検知可能な第1検知手段と、

第2領域を通過する遊技球を検知可能な第2検知手段と、

を備え、

第1期間中は、遊技球が前記第1検知手段に検知された場合と遊技球が前記第2検知手段に検知された場合とで、互いに同一の演出を実行し、

第2期間中は、遊技球が前記第1検知手段に検知された場合と遊技球が前記第2検知手段に検知された場合とで、互いに異なる演出を実行する

40

ことを特徴とする。

50